# 子育てしやすい町づくりを

質問者
南雲　まさ子　議員

松田町総合戦略の基本目標の中に、若い世代が安心して子どもを産み育てられる環境づくりとあります。その目標達成のための町としての取り組みについてお伺いします。

(1) 学童保育の対象が4年生から6年生にまで広がりましたが、その対応は万全に実施されていますか。

(2) 今年の9月から子育て世代包括支援センター事業が始まりましたが、本町として出産後のケアを拡充する考えはありませんか。

(3) 病児病後児保育を近隣の町と広域で行えるような話し合いをする状況にあると思いますが、どのようにお考えですか。

**A**

**安心して子どもを産み育てられる環境づくりを**

回答（町長）

(1) 児童数や教室の増加に伴い、学童支援員を増員した。今後も利用者が増えることが予測され、29年度以降に向けた更なる対応策を研究し、ニーズにあった対応を行っていく。

(2) 子育て世代包括支援センター事業は、専任の非常勤保健師を雇用し、9月1日より事業を開始した。

産後ケアについては、足柄上病院で年内に事業を開始する予定であり、当町としてもケアの協力または支援について調査研究を進めていく。

(3) 足柄上郡5町で、病児病後児保育は足柄上病院を拠点として実施する方向にまとまった。しかし、小児科医の不足により協力できないとの回答であった。病後児保育としては、ファミリーサポートセンター事業での対応を考えている。

# 町の教育への取り組みについて

質問者
平野　由里子　議員

(1) 松田町立幼、小・中学校の適正規模・配置のあり方については慎重な検討が必要ですが、次のことをお尋ねします。

① 平成28年9月中を目途に方向性を決めるとのことですが、当初平成27年度中に方向性を示すとされていました。遅れた理由は何ですか。

② アンケート結果では、保護者・町民・教員は「松小・寄小は存続、寄中は松中に統合」と「小中学校それぞれ統合」を合わせ、何かしら統合すべきと考える方の割合が最も多くなるが、児童生徒では現況のまま存続を望む回答が最も多い。これに対するお考えをお聞かせください。

(2) 登校時間帯の交通規制を見直すことについて、児童の安全に対する町の姿勢をお聞かせください。

**A**

**学校のあり方は全課の課題**

回答
（町長・教育長）

(1) 学校のあり方について昨年末に広範なアンケート調査を行い、その集計・分析に予想以上の時間を要したことが遅れの要因である。

児童・生徒の回答に現在のまま存続という声が多いことは、現在の学校生活に満足しており環境が変わることへの不安を表しているものと推測するが、子ども達の率直な意見が聞ける場を設けるよう学校と調整したい。

この課題は、一つの町としてやっていくために全課が目をそむけてはならないものと認識している。学校教育のカリキュラムを踏まえつつも、寄の地域を活かした教育の可能性をさぐりたい。学校統合については先進地域などの様々な情報を得ながらより良い方法を考えて行く。

(2) 見直し要望が出された際には、常に児童・生徒の安全を第一に考えて判断する。

統合が検討されている寄中学校

このページは、質問者本人の原稿を尊重し編集しています。